

ふれあいと未来へつなぐ（ペイ・フォワード）元気な芦田

芦田地域づくり計画



平成28年3月
芦田自治振興会

目 次

1. 芦田地域づくり計画策定の趣旨
2. 現状と課題
 - (1) 地域の概要
 - (2) 急激な人口減少と高齢化等の状況
 - (3) 地域団体の活動状況
 - (4) 直面している地域の課題
3. 芦田の将来像
「ふれあいと未来へつなぐ（ペイ・フォワード）元気な芦田」
4. 基本計画
 - (1) 基本方針
5. 基本方針に基づく実施事業
 - (1) 課題解決のための対応や取り組み（全員参画）
 - (2) 人を育て、活力ある文化と歴史を育む取り組み（人づくり・文化・交流）
 - (3) 拠点施設の活用と全住民参画型の取り組み（拠点施設活用）
 - (4) みんなで助け合い、健康で安全・安心な取り組み（健康・安全・安心）
 - (5) みんなで支えあい、明るく暮らしていける取り組み（支えあい）
6. 参考資料
 - (1) 地域づくり計画策定経過
 - (2) 地域づくり委員会
 - (3) 組織図

1 芦田地域づくり計画策定の趣旨

芦田自治振興会が設立されて10年目になります、この間地域の一人ひとりが笑顔あふれるよう、様々な取り組みをしてまいりました。

丹波市が提唱する地域づくり補助事業をはじめ、5年前には「みんなで創る元気芦田むらの地域づくり計画」を策定し、元気な地域づくり特別事業や兵庫県の県民交流広場事業など補助事業を活用してまいりました。

これらにより、拠点となるふれあいセンターの建設や各種スポーツ大会、講座講習会の開催、ふるさと発見ウォーキングやふれあい祭りなど様々な取り組みを行ってきました。

しかしながらこの10年で芦田保育園の閉園や芦田小学校の統合移転、そしてこれらの要因となる地域人口の大幅な減少など、芦田地域を取り巻く環境は大きく変わってきております。

芦田地域の様々な課題の解決のために、引き続いて地域づくりのための取り組みが必要です。多くのみなさんの参画が大切です。

丹波市では新たな地域づくり交付金制度を設けました。この制度により、平成28年4月から芦田地域の今後の10年間の「新たな地域づくり計画」を作りました。

計画に当たっては各自治会から若い人たちに委員をお願いし、振興会委員も加わり、中学生以上の全区民の皆さんからアンケートをとるなどして、多彩な取り組みを計画しました。

2 現状と課題

(1) 地域の概要

芦田地域は東芦田、田井縄、栗住野、西芦田、口塩久区の5つの自治会から成り、自治会の数が少ないため芦田小学校区としてまとまりのよい連携がなされてきました。

地域内には豊かな田園が広がり、北近畿豊岡自動車道青垣インターがあるところから市内や都市部へのアクセスが便利になっております。

また、「道の駅あおがき」や「丹波少年自然の家」があり、地域外からの来訪者も年間35万人程度あります。

純農村地域のため商店は酒屋、スポーツ店等数店のみです。

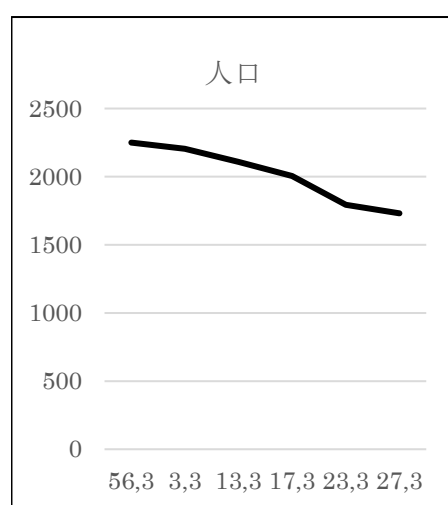
芦田保育園が平成23年3月末で閉園し、認定こども園あおがきに統合し移転しました。

芦田小学校も平成29年3月をもって閉校となり、新たな青垣小学校として佐治地域に移ってしまいます。

（２）急激な人口減少と高齢化等の状況

芦田地域34年間の人口推移 （単位 人）

年 度	1981	1991	2001	2005	2011	2015	増減率(%)		高齢化率	若年率
	56,3	3,3	13,3	17,3	23,3	27,3	56 対 27	17 対 27	65 歳以上 (率)	19 歳以下
人口	2250	2204	2108	1995	1794	1731	△519 人 23,0 %	△264 人 13,2 %	588 (34 %)	264 (15 %)



この10年間で急激に人口が減っている。

地域の人口は34年前と比べると23%減と4分の1も少なくなりました。特にここ10年の減少が著しくなっています。10年前は1,995人、5年前は1,794人そして現在は1,731人と急激に減少しています。地域の高齢化率は34%と丹波市の31%と比べると高い数値となっています。

少子高齢化を表す19歳以下の人口にあっても15%と極めて低く、このままの状態を続けるならばコミュニティの崩壊が危惧されます。

（３）地域団体の活動状況

一部地区の元気な活動があります。東芦田地区では、セツブン草祭りやあかり展の開催や「ごりんかん」を拠点とした村づくりなど様々な活動をしています。グループの高齢化が課題となっております。

「道の駅あおがき」では地域づくりからスタートした農事組合法人「おいでな青垣」により地域特産物の提供やレストランの運営を行っております。

女性グループの活躍も見られます。「高齢者お昼のつどい」では高齢の方々に楽しいお昼を提供しています。

自治振興会が毎年開催しているふれあい祭りは芦田地域の農業と文化の祭りです。中でも炭焼きサンマ大会は人気があり、子供から高齢者まで楽しい1日が過ごせます。

子供を育むボランティアは登下校の見守り、読み聞かせ、放課後教室などで30名近く活動しています。

友遊キャンプは青少年育成協議会の活動として、子供たちで計画し大人が見守ります。

秋のスポーツ大会はだれもが面白く参加できるものとして親睦を深めています。

地域内の様々な活動は情報誌「元気あしだ村」を2カ月ごとに発行し、区民に知らせています。

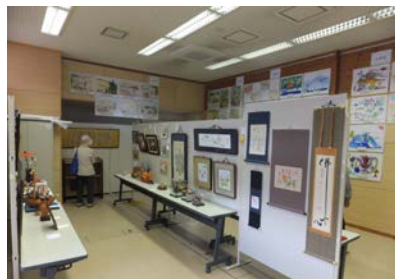
このように特色ある活動がみられるものの地域全体としては急激な人口減少、高齢化に太刀打ちできず、コミュニティの低下、活力の低下が進んでいます。

(4) 直面している地域の課題

- 人が集まらなくなった。
- 若者の就労の場が少ない。
- 地域力（集落の活力）が減退している。
- 農業の担い手がない。
- 集落の担い手（役員）がない。
- こどもを中心とした活動がなくなりつつある。
- こどもや高齢者が気軽に立ち寄れる場所がほしい。
- 空き家が目立ってきた。
- 地域の中で青年が活躍する場所がない。



ふれあい祭り



市民ニューススポーツ大会



講座の開設 (野菜づくり教室)

3. 芦田の将来像

～ふれあいと未来へつなぐ(ペイ・フォワード) 元気な芦田～

地域住民にとらわれず、芦田の伝統・文化・歴史・自然の良さをみんなで大切にする
ことで、心からの感動を育み、「過去から未来」、「人から人」へと繋ぎあい、みんなが
支えあう元気な芦田を目指します

※ ペイ・フォワードとは、

人から受けた厚意(親切)を、その受けた相手に返す(ペイ・バック)だけでは無く、受けた厚意
(親切)を『次へ渡す』(ペイ・フォワード)の考え方を基本ととらえ、芦田では、伝統・文化・歴
史・自然・人の好さを後世に引き継いでもらえるよう、努力を惜しみません。

4. 基本計画

(1) 基本方針

- ①様々な課題解決のため住民みんなで「真摯」に取り組み元気な芦田を目指します。
- ②人を育て、活力ある文化と歴史を育む元気な芦田を目指します。
- ③拠点施設を活用し、全住民参画型の元気な芦田を目指します。
- ④みんなで助け合い、健康で安心・安全・元気な芦田を目指します。
- ⑤みんなで支えあい、明るく暮らせる元気な芦田を目指します。

5. 基本方針に基づく実施事業

(1) 課題解決のための対応や取り組み(全員参画)

- ① 様々な地域課題に沿った委員会等を立ち上げ解決に向けた検討を行います。

(2) 人を育て、活力ある文化と歴史を育む取り組み(人づくり・文化・交流)

- ① 芦田もりあげ隊の設立
 - ・地域イベント、観光等への活動ボランティア募集、登録
- ② 芦田の歴史発掘隊の設立
 - ・芦田の歴史や伝統文化や匠の技の伝承活動の実施
- ③ 芦田の年中伝承行事の継承と芦田独自行事の創造
 - ・とんど焼きなどの開催
- ④ 芦田の農業を考える会の開催
 - ・研究会や講習会の開催
- ⑤ 芦田で俳句を楽しむ会の設置
 - ・細見綾子に学ぶ事業の開催
- ⑥ 芦田っ子が地域の良さを体感する活動
 - ・子ども交流事業や親子ふれあい事業の実施

- ⑦ 芦田の寺子屋の充実
 - ・ 芦田っ子ふれあい教室の開催
- ⑧ 芦田五十三次の設置
 - ・ ふるさとマップの活用、標示板の設置

(3) 拠点施設の活用と全住民参画型の取り組み（拠点施設活用）

- ① 芦田ふれあいサークル活動の推進
 - ・ 文化・スポーツなどサークル活動の支援
- ② SNSを活用した芦田の情報発信
 - ・ ホームページの活用、あしだ一斉連絡網の設立
- ③ 芦田地区住民交流事業の実施
 - ・ 芦田ふれあい祭りの開催
 - ・ 高齢者の集いの開催
 - ・ 芦田の同窓会の開催
 - ・ 各世代や世代間交流事業の実施及び支援
- ④ 芦田憩いの広場の開設
 - ・ ふれあいカフェの開設
- ⑤ 芦田年間行事カレンダーの作成
 - ・ 芦田地区内の主な年間行事カレンダーの作成
- ⑥ 芦田のみんなの交流広場開設
 - ・ 芦田小学校跡地の利活用
- ⑦ 各種講座・体験教室の実施

(4) みんなで助け合い、健康で安全・安心な取り組み（健康・安心・安全）

- ① 防災を考える事業
 - ・ 防災学習や防災訓練の実施
- ② ふれあい健康広場の開設
 - ・ 住民のみなさんがふれあいながら健康維持の出来る広場の開設
- ③ いきいき健康教室の開設
 - ・ 指導員による健康教室の開催
- ④ 歩こう会、登ろう会の実施
 - ・ 健康ウォーキング交流会の実施
 - ・ 芦田五十三次巡り健康ウォークの開催
 - ・ 芦田の山々巡り健康登山の開催
- ⑤ 芦田スポーツ大会の開催
 - ・ ニュースポーツ大会やグラウンドゴルフ大会の開催
 - ・ 各種スポーツ大会の開催
- ⑥ 芦田健康倶楽部の設立
 - ・ みんなで健康づくりを考え、行動する倶楽部の設立、支援

(5) みんなで支えあい、明るく暮らしていける取り組み（支えあい）

- ① 芦田お助け隊の設立
 - ・手助け活動ボランティア募集、登録
- ② 子どもの見守り活動の実施
 - ・日常の見守り活動や生活環境の点検活動の支援
- ③ 環境・リサイクル活動事業
 - ・環境美化活動やリサイクル活動の実施
- ④ 芦田版 地域デマンド（支えあう）交通の試み
 - ・乗り合い交通の検討
- ⑤ 芦田版「ペイ・フォワード」運動の実施
 - ・人から受けた厚意・親切を「次に渡す」運動の実施



健康講座 （ノルディックウォーク）



歴史講座（ふるさと発見ウォーク）

6 参考資料

(1) 策定の経過

第1回	平成27年	8月27日	委員会の構成と進め方の検討
第2回	平成27年	9月15日	アンケート調査の検討
第3回	平成27年10月13日		アンケート調査の検討
	平成27年10月25日		アンケート調査の実施
第4回	平成27年11月17日		視察研修内容について
第5回	平成27年12月6日		視察研修（佐用町江川地域）
第6回	平成27年12月15日		アンケート調査の集計とその活用
第7回	平成28年	1月12日	アンケート調査の分析と地域課題の抽出
第8回	平成28年	1月26日	地域課題抽出
第9回	平成28年	2月9日	地域課題のまとめと基本方針の検討
第10回	平成28年	2月23日	事業実施計画の検討
第11回	平成28年	3月4日	事業実施計画の検討
第12回	平成28年	3月8日	事業実施計画の検討
第13回	平成28年	3月22日	地域づくり計画のまとめ

(2) 地域づくり委員会

委員長	小川 庄策	副委員長	芦田 拓也		
委員	小高 麻理	堀河 陽介	足立 佐都子	足立 なおみ	
	足立 敏彰	足立 祥子	古川 徳晴	大谷吉春	
	谷垣 陽一	仲野 敏雄			



(3) 芦田自治振興会組織図

